

グループ一体での総合金融サービスの提供

■しずぎんグループのご紹介

高い専門性を持つグループ会社等15社（持分法適用関連会社3社を含む）が、総合金融サービスを地域のお客さまに提供しております



TOPICS

● 静銀リース 静岡銀行が静銀リースとの 媒介業務を開始

(2018年10月)

静岡銀行の窓口において、銀行融資とリースを組み合わせたご提案が可能になりました。

(注)所有権移転外ファイナンスリースに限ります。

● 静銀信用保証 アルヒ株式会社と連携した保証事業を開始

(2018年8月)

住宅ローン専門金融機関であるアルヒ株式会社が取り扱う変動金利型住宅ローン「ARUHI 変動S」を静銀信用保証が保証する取り組みを開始しました。静銀信用保証が、静岡銀行グループ以外の企業向けの保証業務を取り扱うのは今回が初となります。

IT関連業務

- 静銀コンピューターサービス

海外子会社

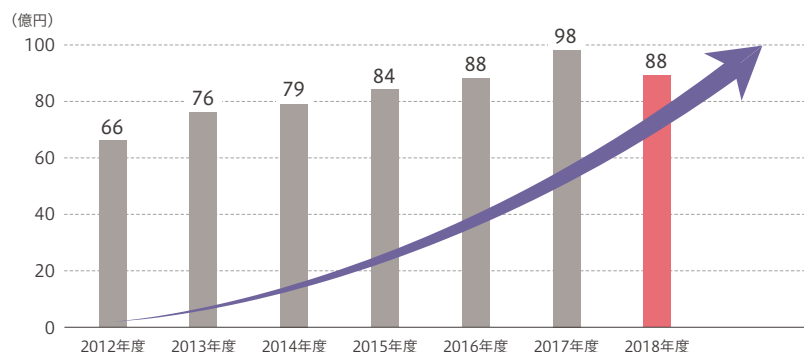
- 欧州静岡銀行
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited

その他の持分法適用関連会社

- マネックスグループ
- コモンズ投信

■ グループ会社業績推移

銀行との連携を強化し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてきた結果、連結子会社12社の経常利益の合計は地方銀行の中でトップ水準にあります



■ グループ各社 (連結子会社12社) の業績 (2018年度) (億円)

会社名	主要業務内容	経常収益	前年度比	経常利益	前年度比
静銀経営コンサルティング(株)	経営コンサルティング業務、代金回収業務	17	+2	5	+1
静銀リース(株)	リース業務	315	+4	18	+1
静銀コンピューターサービス(株)	コンピューター関連業務、計算受託業務	38	△0	3	+1
静銀信用保証(株)	信用保証業務	43	+2	28	△0
静銀ディーシーカード(株)	クレジットカード業務、信用保証業務	27	+2	7	+1
静岡キャピタル(株)	ベンチャーキャピタル業務、中小企業再生支援業務	5	+0	2	+0
静銀ティーエム証券(株)	金融商品取引業務	64	△21	15	△18
欧州静岡銀行	銀行業務、金融商品取引業務	8	+2	△0	△1
Shizuoka Liquidity Reserve Ltd.	金銭債権の取得	9	+5	9	+5
静銀総合サービス(株)	人事・総務・財務関連業務、有料職業紹介業務	9	△0	0	+0
静銀モーゲージサービス(株)	銀行担保不動産の評価・調査業務、貸出に関する集中事務業務	17	△0	0	△0
静銀ビジネススクリエイト(株)	為替送信・代金取立等の集中処理業務等	30	△3	0	+0
合計(12社)		580	△7	88	△10

● 静岡キャピタル

観光活性化への取組み

(2019年1月)

静岡キャピタルが運営する「しずおか観光活性化投資事業有限責任組合」(しずおか観光活性化ファンド)で、第6号事案の投資を実施しました。

● 静岡ティーエム証券

SDGsへの取組み

(2018年7月)

SDGs達成に関連した事業を展開する上場企業のなかから、中長期的に株価上昇が期待される企業を厳選して投資を行う投資信託の取り扱いを開始しました。

● 静銀経営コンサルティング

M&A、事業承継への取組み

中小企業を中心に、M&A・事業承継コンサルティングで業績を拡大しており、2018年度はコンサルティング契約を131件締結しました。

SDGs マップ

持続可能な開発目標への取り組み

地域に根ざす金融機関として

持続可能な地域社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

Services

金融サービス

P19 ■しずおか観光活性化ファンド

P23 ■地方創生に向けた取り組み

- P24 ■地方創生全体会議の開催
- 観光活性化への取り組み
- しずおかキッズアカデミー
- 地方創生研修生受け入れ



P25 ■地域の企業に対する
円滑な事業資金の供給



P26 ■しずぎん成長分野
応援プロジェクト



P28 ■しずぎん起業家大賞



P33 ■経営改善支援

P34, ■事業再生支援

P39 ■転廃業支援

P40 ■相続・事業承継支援

■次世代経営者塾「Shizuginship」



Environment

環境

P45 ■6つの基本方針

■環境目的

P46 ■「21世紀金融行動原則」への署名

P46 ■金融業務を通じた環境への対応

- P47 ■環境格付私募債
- エコサポート・ビジネスローン
- 経営コンサルティング
- ECO口座
- 富士山定期預金
- グリーン世銀債ファンド(投資信託)



P48 ■静岡銀行グループの環境負荷軽減

- P49 ■エネルギー使用量の削減
- 省エネ設備の導入
- エコカーの導入
- グリーン購入の実践
- ゼロエミッションへの取り組み
- 紙使用量の削減
- 紙類のリサイクル
- 先進的な省エネ技術の導入



P50 ■従業員の地域・家庭での
環境への対応強化

- 「小さな親切」運動
- 公益信託しずぎんふるさと環境
保全基金



裏表紙

■間伐に寄与する紙の使用



Social

社会

- P52** ■ バリアフリー化の取り組み 
-
- P53** ■ 個人情報保護への取り組み
P54 ■ 口座の不正利用防止
 ■ 金融犯罪への取り組み
 ■ 各種セキュリティ対策
-
- P55** ■ しずぎんユーフォニア・コンサート
P56 ■ しずぎんカルチャー・フォーラム
 ■ しずぎんカップ(サッカー・野球) / 全国少年少女草サッカー大会
-
- P56** ■ しずぎんエコアイデア・コンテスト  
-
- P56** ■ 金融経済教育 
P57 ■ 「エコノミクス甲子園」静岡大会
 ■ アジア留学生奨学金制度
 ■ インターンシップ
-
- P57** ■ 人権啓発への取り組み  
-
- P57** ■ 地域雇用への貢献 
-
- P57** ■ 日本金融ジェロントロジー協会への加盟 
-
- P58** ■ 業務継続体制(大規模災害対策)
 ■ 津波対策への取り組み 
-
- P59** ■ 人材育成 
P60
-
- P61** ■ ダイバーシティ  
P62 

Governance

ガバナンス

- P65** ■ コーポレートガバナンスのさらなる強化 
P70 ■ 方針
 ■ 機関の内容
 ■ 役員一覧
 ■ 実効性向上
-
- P71** ■ コンプライアンスの徹底 
P72
-
- P73** ■ リスクマネジメント 
P74

SDGs (持続可能な開発目標)

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)」を全会一致で採択。先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲットが設定されました。貧困や飢餓などの社会的課題や、環境、ジェンダー平等、エネルギー、労働環境等の問題の解決に向け、すべての国に適用される普遍的な目標であり、各国政府や市民社会、民間セクターを含む様々な主体が連携して取り組んでいくこととされています。



第13次中期経営計画 (2017~2019年度)

TSUNAGU ~つなぐ

2017年4月より、静岡銀行グループは第13次中期経営計画「TSUNAGU ~つなぐ」に取り組んでいます。
この計画では、総合金融サービスにより地域におけるコアビジネスを強化するとともに、
第12次中期経営計画から取り組み始めた事業領域の拡大をさらに進めることで、
静岡銀行グループの持続的な成長モデルを築きます。

ビジョン **Innovative Bank** ~地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

4つの基本戦略

1 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化

静岡銀行グループが提供する総合金融サービスが、お取引先、
ひいては地域の成長に寄与することで、互いの成長につながる好循環を創出します。

2 事業領域の開拓・収益化による 地方銀行の新たなビジネスモデルの構築

第12次中期経営計画から取り組んできた事業領域の拡大を一層強化し、
さらに成長させることで、地方銀行の新たなビジネスモデルを構築します。

3 チャンネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革

次世代システムの導入により、お客さまとの接点であるチャンネルのあり方と
これまでの業務プロセスを刷新し、利便性・効率性を高めます。

4 地域、お客さま、従業員、株主の 夢と豊かさの実現を応援する

静岡銀行グループを支えるすべてのステークホルダーの満足度向上への
取り組みを通じ、各ステークホルダーの評価・信頼が
他のステークホルダーへ波及していく好循環を創出します。

第13次中期
経営計画で目指す
構造改革

第12次中期経営計画
新たな事業領域の開拓
戦略的投資の実施

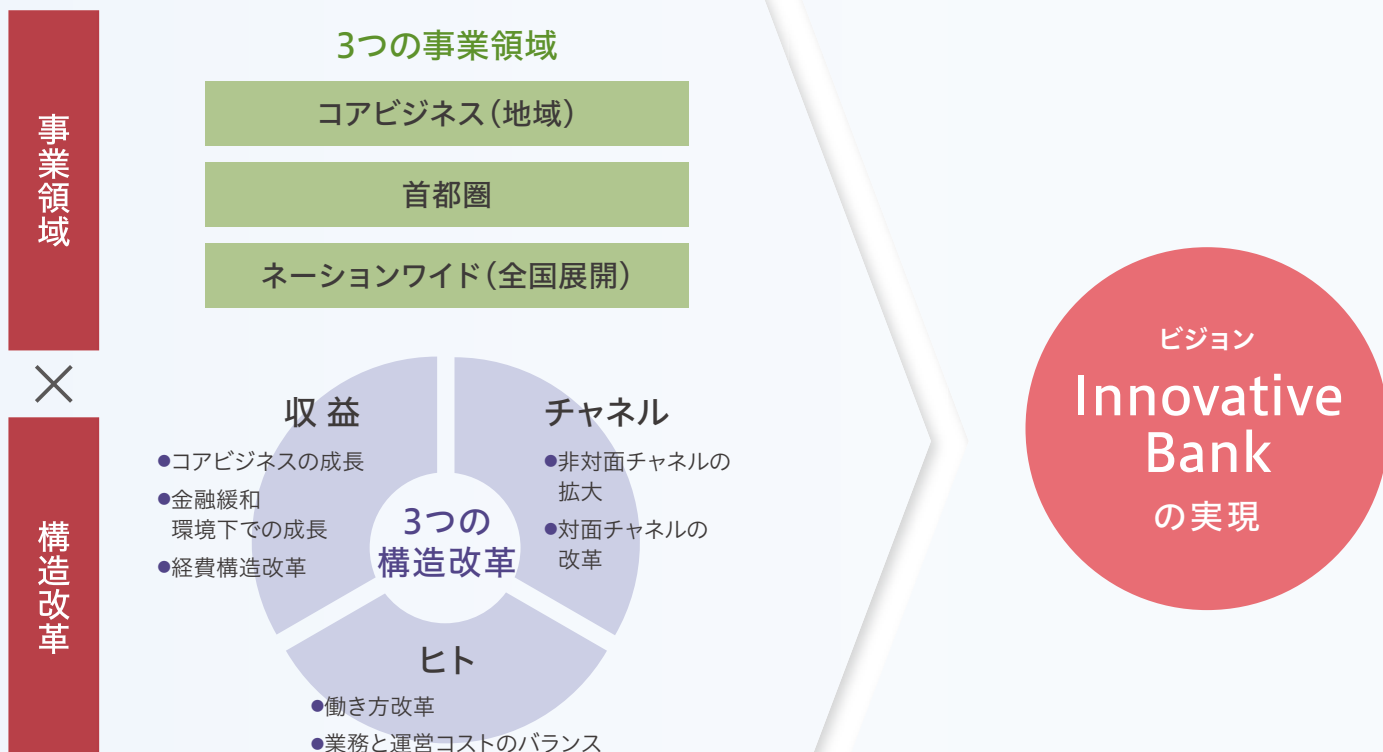
■目標とする指標(2019年度)

		第13次中期経営計画 策定時における経営目標	2019年度事業計画 における経営目標 ^(※)
収益性指標	連結経常利益	770億円以上	730億円
	連結当期純利益	540億円以上	515億円
効率性指標	連結ROE	6%程度	5%以上
	連結OHR	55%程度	55%程度
健全性指標	連結普通株式等TierI比率	14%程度	14%程度
投資家向け指標	株主還元率	中長期的に50%程度	中長期的に50%程度

(※)第13次中期経営計画策定時からの環境変化等を踏まえたもの。
2019年6月公表

「TSUNAGU」に
込めた想い

- 地域とともに手を携えて(つないで)成長していく。静岡銀行グループの伝統・時代を“つなぐ”
- 全てのステークホルダー(地域・お客さま・株主・従業員)が静岡銀行グループの金融サービスを通じて“つながる”
- 第13次中期経営計画における3つの“構造改革”を通じて、第14次中期経営計画の持続可能なビジネスモデルの構築へ“つなぐ”



4つの基本戦略を「コアビジネス」「首都圏」「ネーションワイド」の3つの事業領域で推進します。あわせて、「収益」「ヒト」「チャンネル」の3つの構造改革に取り組み、ビジョンを実現します。

第13次中期経営計画
3つの構造改革による
成長戦略の継続

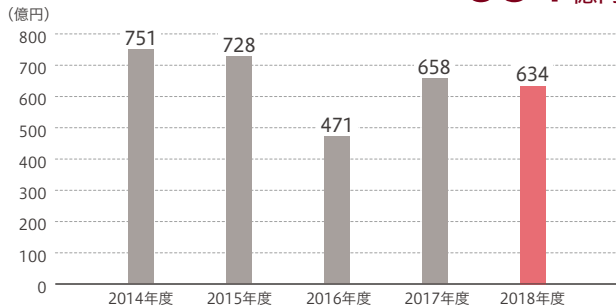
第14次中期経営計画以降
持続可能な
ビジネスモデルの構築

財務ハイライト

主要項目

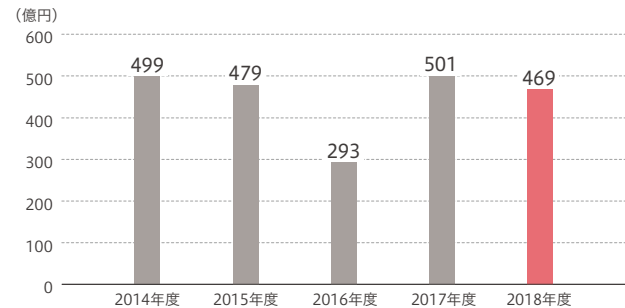
経常利益(連結)

634 億円



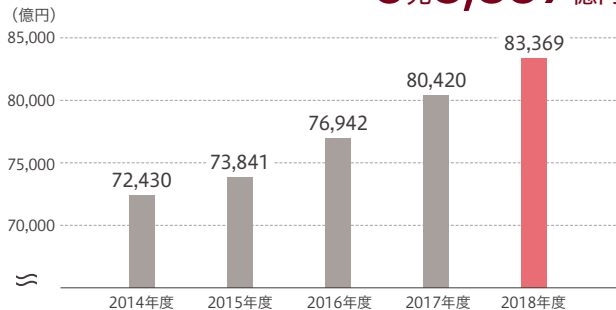
親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

469 億円



総貸出金残高(平均残高・単体)

8兆3,369 億円



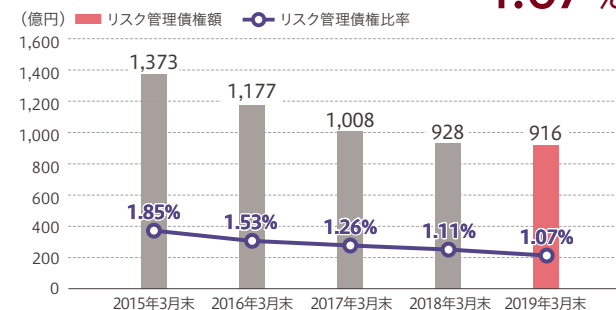
総預金残高(平均残高・単体)

9兆6,412 億円



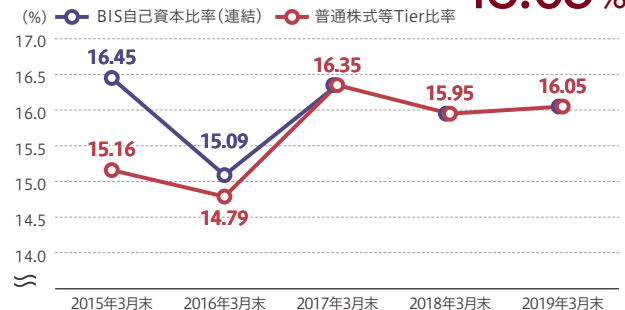
リスク管理債権比率(単体)

1.07%



BIS自己資本比率(連結)

16.05%



格付(ムーディーズ社) (2019年7月1日現在) **A1**

	長期格付	短期格付
ムーディーズ社	A1	P-1
S&P	A	A-1
格付投資情報センター	AA-	—

株主還元率(10年間平均・単体)

56.68%

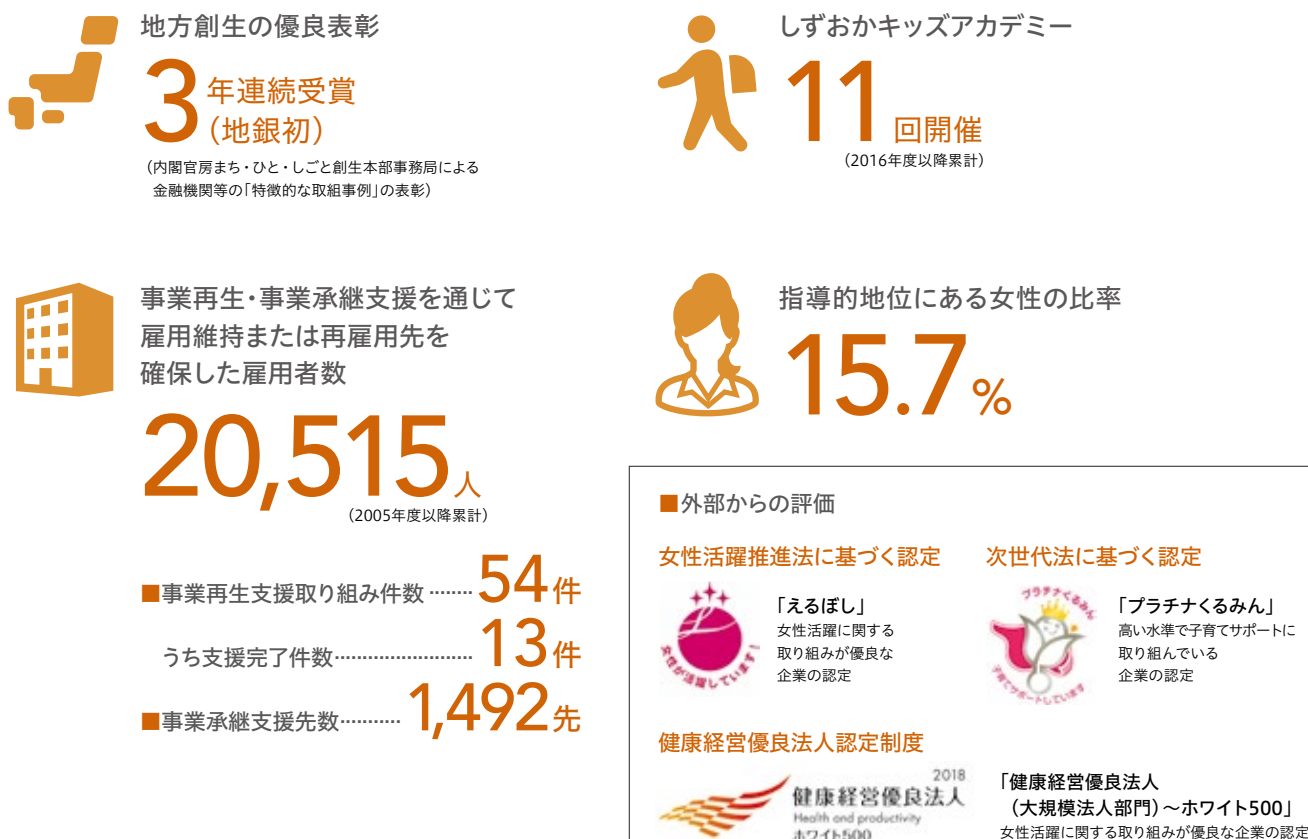
	重点事項	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2009年度~2018年度 (10年間平均)
単体	1株当たり年間配当額	16.00円	20.00円	20.00円	21.00円	22.00円	—
	配当性向	23.24%	27.91%	49.83%	28.74%	30.38%	27.67%
	株主還元率	49.82%	43.82%	84.60%	51.16%	53.99%	56.68%
連結	株主還元率	42.47%	40.23%	70.60%	44.32%	49.11%	50.01%

非財務ハイライト (2018年度実績)

環境



社会



ガバナンス

(2019年7月現在)

取締役会の構成



社内取締役8名
[男性8名]

代表取締役	2名
業務執行取締役	5名
非業務執行取締役	1名



社外取締役

2 名

[男性1名・女性1名]

監査役会の構成



社内監査役2名
[男性2名]



社外監査役

3 名

[男性2名・女性1名]